



# Good News for Japan **とぎのこえ**



救世軍創立記念日  
7月2日

## あなたの夢は 何ですか？

吉田 眞

平成二十七年七月一日発行  
昭和二十二年一月二十四日(第三種郵便物認可)

明治二十八年創刊 毎月一日・十五日発行

「あなたの夢は何ですか？」といきなり尋ねられたとしたら、あなたは「私の夢は○○です。」とスツとこたえられますか。……もしすぐに「私の夢は○○です」とこたえらるるとしたら、とても素晴らしいことだと思います。

インターネットで、こんな書き込みに出会いました。皆さんはいかがでしょうか。

西洋にはビクターズブック(来客帳)というものがあり、客に、訪問記念のサインをしてもらう習慣があります。二十世紀の初頭、英国の王であったエドワード七世に招かれたひとりの人が、王様のビクターズブックにこう書きました。

ある人の大望は芸術、  
ある人は名声、  
ある人は富である。

しかし、  
私の大望は人の魂である。  
この人の夢は、人の魂、心の変革のために働くことでした。

十九世紀、産業革命後の英国は、失業者が増加し、人心が荒廃、街には、アルコール依存症者、売春婦が

あふれました。その様子を見て、彼らのために働く決心をした一人の人がいました。彼は、メソジスト教会の牧師でしたが、街角に立ち、彼らにキリストを伝え、彼らのために、社会事業の働きを始めます。たくさんの方が、彼とその仲間たちの働きに助けられ、キリストを信じ、心と生活の変革を経験しました。この人物が、救世軍の創立者ウィリアム・ブースです。そして、これが救世軍の始まりでした。

「少年よ、大志を抱け」という、札幌農学校で教鞭をとったクラーク博士の有名な言葉の全文は、次のようなものでした。

少年たちよ、(キリストにあって)大志を抱け！  
お金のためではなく、私欲のためでもない。  
名声という虚しいもののためでもない。  
人間としてあるべき姿を  
求める大志を抱け。

先のウィリアム・ブースは、野心家であり、大きな望みをもっていました。少年の頃は、実業家で成功したいと望み、政治に熱中し、大演説ができるようになりたいと願いました。しかし、

謹んで震災のお見舞いを申し上げます。  
一日も早い被災者の方々の心の平安の回復と、被災地の復興をお祈り申し上げます。

彼は、東ロンドンの困窮する人々を見て、彼らのために働くべきであるとの「運命」を見いだしたのでした。人は、自分の欲望が満たされ、人から賞賛され、人の上に立つことを求めるでしょう。しかし、本当の幸せは、自分の行くべき道を見いだし、その道を歩んだ時に与えられるものです。ブースは、弱者、困窮者のために働くことに自分の道を見いだししました。

ブースを通し、神によって始められた救世軍は、今年、創立百五十周年を迎えています。また、日本での働きが開始されて、百二十年になります。この間、救世軍が変わることなくおこなってきたことは、

「主イエス・キリストの名名において、分けへだてなくすべての人々のニーズに答えること」

「主イエス・キリストの名名において、分けへだてなくすべての人々のニーズに答えること」

(救世軍ミッションステートメントより)  
であり、今も、世界中の救世軍が実行しています。



創立者ウィリアム・ブースの胸像

(救世軍士官(伝道者))

さて、聖書の語る弱者は、単に、物質的な不足や、社会的な弱者であるだけでなく、その心が満たされることのない苦しみを経験している人々を含みます。  
「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてください。」(マタイによる福音書11章28節)

これは、イエス・キリストの言葉です。イエス・キリストこそ、弱者のためにこの世に來られた方であり、ブースは、それを具現化した一人でした。

あなたは、弱者としての苦しみを経験されてはいないでしょうか。もし、そうであるなら、ぜひキリストのもとに來ることをお勧めいたします。

# 福音のうちに見れる神の義

〈信仰の体験談〉



山中 実

## 壮大な自然の中で

私は、救世軍士官 (伝道者) の家庭に生まれ、成長する中、士官の子どもらしさを求める周りの圧力を強く感じるようになりました。その境遇がた

まらなくいやで、高校生になる頃には、救世軍の中と外との大きな隔たりのある生活を巧妙に過ごし分け、救世軍の制服を着て活動する一方で、神様については無関心でした。

## 信仰とは？ 葛藤の日々

けれども、それ以来、心から神様を信じて生きるようになった生活と、自分にとっての救世軍という環境との折り合いがつけられず、引き裂かれるような気持ちをもつようになりました。

## 圧倒的な神様の臨在

しばらくして、妹の結婚式に、久々に家族が揃いました。すると、再び神様のご臨在を感じ、頭上から凄まじい力のようなものが覆い被さる感覚熱のようなものに襲われました。「家族の顔を見捨ててなどい

ない」というような言葉が私に臨み、圧倒的過ぎて身の置き所がないようでした。妹の結婚を心から喜ぶと同時に、この感覚に動揺しました。それほど凄まじかったのです。

その後、当時渋谷小隊にいた人から、見合いのような話がありまして。紹介された女性が、妻の真知子です。彼女はクリスチャンなのにあまりに自然体なので、最初は怪しまりました。服装から身のこ

な、時々一見普通の女性ですが、祈りの習慣が生活に浸透していました。彼女と一緒にいると、(イエス様によって救われた人は、本当は自由人なんだ) ということがだんだんとわかってきて、心がスーッと楽になるのを感じました。そして一年もしないうちに、神様にも家族にも結婚を許してもらうことができました。

「世界が造られたときから、目に見えない神の性質、つまり神の永遠の力と神性は被造物に現れており、これを通して神を知ることができま

す」(ローマの信徒への手紙 1 章 20 節) という聖書の言葉を後で知りましたが、私は、そこで神様の存在を信じました。

## 聖書がわからない!

ところが、実は、その後も、聖書に書かれていることが今一つわからず、すっきりしない状態でした。聖書には、今の時代との違い、文化的な違い、理解できないこと、信じ難い奇跡がたくさんあり、これとイエス様に関する不思議な記事には、神話の類ではとさえ感じていました。本当に不信仰でした。「あなたは私を誰というのか?」というイエス様からの問いに答えなくてはならない、私が二千年前のユダヤ人としてイエス様を自撃したなら、群衆に逆らってでもイエス様についていけないほどの確信がなくてはならないと思いつつ、体験的にわかっていたいなかったのです。

## 心の穴が埋められる経験

ところが、3. 11 の震災の日以来、日が経つにつれ心が苦しくなってきました。毎日のように流される原発の映像「想定外」などと自己弁護す

る人間とはいったい何者なのか、人間の想定内にある一見安心なものなど、どれだけ良いものなのか、と。その時に、(神様は、ただ聖書を通してだけ、人間に真理を教えてください) と確信しました。

そして(主よ、どうか自分にもわからせてください) と祈るうちに、突如、私の心の中にある、数々の大きくて暗い穴が、御言葉によって、ズドン! ズドン! と埋められていく経験をしました。

「私が個人的に救われるか、天国にいけるか、どんな良い人間になるかよりも、決定的に大切なことがある。それは、神様は「義」であり「聖」であるという真理なのだ」と。

天地万物を支配された神様には完璧なご計画があり、今も、そのご計画の成就に向けて着々と導いておられることがわかりました。私に与えられる希望は、このご計画の成就を喜び、このご計画に与ることのみにあるのだ、と確信しました。そしてトドメにこの聖句が与えられました。

「その名はインマヌエル (神われらと共にいますの意と呼ばれる。)(マタイによる福音書 1 章 23 節)

これこそがイエス様の御名です。神であるイエス様は人と同じ姿となって地上に生まれ、人と同じ生活をされ、罪のなだめの供え物として十字

架につき、墓に葬られ、三日目によみがえり、天に昇られ、神の右に座し、今も生きておられ、私たちのために執り成しをしておられ、再び地上に王として降りて来られる! イエス様の福音が事実として迫ってきました。また、「どんな状況にあっても、三十八年間私はおままと共にいた」との声をいただきました。

「アーメン! 主よ、本当にそうです! 主イエスの福音をそのまま受け入れます。あなたこそ真のメシアです!」私は告白することができました。これは奇跡です!

人間としての私の責務は、主イエス・キリストの福音と再臨の約束を、混ぜ物を入れずに次の人にバトンタッチしていくことです。まず、身近な人々から……。

最後に、私のため祈り続けてくれている両親に感謝します。神様のなさることは本当に不思議です。こんな私が救世軍の中にキリストの体として加えさせていただいていることを心から感謝いたします (救世軍渋谷小隊 (教会) 所属)



〈信仰の体験談〉

神様に信頼して生きる幸せ

山中 真知子



生い立ち

私は、クリスチャンの両親のもと、五人姉弟の次女として生まれまして。物心ついた時から毎週日曜日は教会へ、また、所属教会付属の幼稚園へ通っていたので、食事の前や寝る前に感謝のお祈りをする毎日を送っていました。

両親が他の人のために涙して祈る姿を見たり、車の中に賛美歌が流れていたり、家のあちこちに聖書の御言葉が飾られたりしていました。小さい頃から、「神様を第一にしていくなら、すべてに必要なものは与えられる」と教えられてきたことは、私の心を温かくしてくれていました。小学生になると、神様がこの世にあるすべてのものを創造された、愛なる偉大な方だということがなんとなくわかってきました。

十字架によって

中学一年生のある日、姉と些細なことで言い争っているうちに、ちよつと手を出す喧嘩をしました。喧嘩中は姉を

師夫人と一緒に祈りしてくださると、自分の今までの悪い事いろいろと思い出され、胸が熱くなり、ぼろぼろと涙を流しながら、「イエス様ごめんなさい」とお祈りしました。悔い改めの時でした。

責める気持ちばかりでしたが、その後一人になった時「ひどいことばかり言っただけなんだ」と泣きながらお祈りをしました。すると不思議なことに、それからはその時のような喧嘩をすることがなくなり、何でも赦すことができるようになりました。

心軽く暗れ暗れと明るくなりました。そして「これから神様に喜ばれるように生きたい」と思い、その年のクリスマスに洗礼を受けました。それから、うれしい時、悲しい時、困った時、怒ってしまった時にも、神様に信頼して祈るようになりました。

その夏、教会のキャンプで、牧師先生の話を聞き、「罪」というものをはつきりと自覚しました。私たちの罪を赦すためにイエス様は生まれ、十字架にかかって死なれ、三日目に復活され、今も生きておられ、信じる者に永遠の命を与えてくださるという話でした。それまで何度も聞いていた話でしたが、イエス様が私のために死んでくださったことが胸に迫りました。

「もし、私たちが自分の罪を言い表わすなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます」(ヨハネの手紙第一 1 章 9 節 新改訳聖書) この聖書の箇所を開いて牧

師夫人と一緒に祈りしてくださると、自分の今までの悪い事いろいろと思い出され、胸が熱くなり、ぼろぼろと涙を流しながら、「イエス様ごめんなさい」とお祈りしました。悔い改めの時でした。

「恐れな。わたしはあなたとともにいる。」(イザヤ書 41 章 10 節 新改訳聖書) これらの御言葉に励まされ、私の心は安定したものに変わられました。この環境と周りの人は「私に必要だからと神様が私に用意されたのだ」と受け入れることができました。

心を支えた御言葉

看護学生から看護師になると、今まで経験したことがないことだらけの日々でした。大病院で新人だった頃、仕事量に追い付けず、先輩から怒られたこともあり。また、痛みや不安で辛さの中にいる患者さんや「まだ死にたくない！」と訴える患者さ

んのために、「私の命を縮めても良いのでこの人を助けてください」と祈ったりしました。医療や看護の限界、死や不安に対する人間の無力さを実感し、神様に助けを求めました。どうしたらよいかわからなくなつて祈る度、牧師先生や両親、聖書から、いろいろな解決が与えられました。「求めなさい。そうすれば与えられます。」(マタイの福音書 7 章 7 節 新改訳聖書) 「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」(ヨハネによる福音書 13 章 34 節) 「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。」(イザヤ書 41 章 10 節 新改訳聖書) これらの御言葉に励まされ、私の心は安定したものに変わられました。この環境と周りの人は「私に必要だからと神様が私に用意されたのだ」と受け入れることができました。

新しい出会いへ

9. 11 (二〇〇二年) 後まもなく、親の心配を押し切つて七カ月間オーストラリアに滞在しました。神様の造られた本

当に素晴らしい大自然を見、体験して、神様を身近に感じました。いろいろな町の教会で同じ信仰をもつオーストラリア人や世界各国の人と過ごし、キリスト教は確かなものだとわかりました。帰国後、ホスピスで働きた

「救世軍? よくわからないけど...」と思いつつ行ってみました。すると、「心は神に手は人に」(キリスト教の愛の精神をもつて病者に奉仕する)と病院の使命が掲げて



愛する4人の子どもたちと

ありました。その使命に共感し、働くことを決めました。ホスピスで、癌の末期患者さんを受け持ち、また、ちょうどその頃、家族や友人が病気や事故で辛い目に遭い、神様に「なぜですか?」と嘆きをぶつけたこともあり。けれども、自分で抱えきれない、解決できないことなど、すべて神様に委ねると、肩の荷が下ろせ、道が開けていく体験を重ね、信仰が深められていきました。

世界中の人が、この愛なる神様を信じてくださるようお祈りしています。(コイノニア福音グループ 志木キリスト教会所属)

クリトリ
ご氏名
ご住所
この部分を封書か葉書に貼り、裏面の救世軍にお送りください。

創立者 ウィリアム・ブリス 大将 アンドレ・コックス (万国本営 英国ロンドン)

日本司令官

勝地

次郎 (救世軍本営 東京都千代田区)

http://www.salvationarmy.or.jp



### 世界をみつめて

#### 〈英国〉救世軍創立 150 周年記念コイン

王立造幣局 (ロイヤル・ミント) は、救世軍の創立 150 周年記念 5 ポンド硬貨の製造及び販売を開始しました。王立造幣局は、1000 年以上の歴史をもち、英国内で流通する硬貨を製造するほか、外国の記念硬貨を製造しています。



コインの表面には、エリザベス 2 世女王の肖像と発行年が刻印されています。この肖像は、1952 年の女王即位時から数えて 4 代目の肖像です。裏面には、救世軍のレッド・シールドと月桂樹が描かれています。レッド・シールドは、第一次世界大戦中、負傷兵の看護をするボランティアのために救世軍が採用したシンボルです。シールド (盾) によって神様の御守りがあるように、との祈りが込められており、現在も、世界各地で、救世軍の社会奉仕や緊急災害支援の働きの際に用いられています。



造幣局でコインを刻印

記念コインは、ロンドンで開催される救世軍創立 150 周年記念万国大会 (7 月 1 日～5 日) の会場や、英国の救世軍、王立造幣局で購入することができます。

#### 〈アメリカ〉動画による情報提供に取り組む

アメリカにおける救世軍の活動は、東部、中央、西部、南部の 4 つの地域に分けられて進められています。そのうちの二つの地域が、インターネットによる動画配信に積極的に取り組んでいます。

西部の「SAVN. TV」は、アメリカ国内の救世軍の活動以外にも、全世界で起きている、大規模な災害の被災地取材し、救世軍の支援活動の様子など、生の声を全世界に配信しています。4 月にネパールを襲った大地震の被災地には、震災直後から取材に赴き、徒歩でしか入れない山岳地帯での支援の様子を撮影しています。



南部の「SALVATION ARMY TODAY」でも、動画での情報を提供し、毎週火曜日と木曜日に最新のニュースを配信しています。

そのほかに、英国、ニュージーランド、オーストラリアでもインターネットによる動画配信をおこない、より多くの人々に救世軍の活動や信仰を伝えるとともに、救世軍に属する人への教育のためにも用いられています。



全世界を贖う限りない恵み



会場のザ・O2

### 救世軍創立 150 周年記念万国大会

いよいよ、7 月 1 日 (水)～5 日 (日) 開催!

救世軍発祥の地、英国のロンドンで、15 年ぶりの万国大会が開催され、全世界から 16,000 人以上が集まります。大会期間中は、7 つのメイン集会や様々なコンサートなどが開かれます。



万国大会の様子はインターネットで配信されます。アドレスは、boundlesslive.com

#### 救世軍とは

The Salvation Army

プロテスタントのキリスト教会で、世界百二十六の国と地域で活動しています。創立者はイギリスのメソジスト教会牧師だったウィリアム・ブリス。一八六五年、ロンドンの貧しい人々、社会から顧みられない人々の物心両面からの救いを目指し、働きが始まりました。創立者の精神は今も変わらず、助けを必要としている人々のニーズに応えながら、神の愛を伝えていきます。

七月二日は、ウィリアム・ブリスが、東ロンドンの墓地に張られたテントで初めて伝道集会をした日です。救世軍は、この日を創立記念日としました。今年には創立百五十周年にあたります。日本では一八九五明治 28 年に働きが始まり、今年、百二十年周年になります。当初から、刑を終えて出てきた人々の保護や職業訓練、災害被災者支援、廃娯運動の推進、結核療養所の設立、子どもの保護など、社会福祉史に先駆者としてその足跡を残しました。現在は、四十四の小隊 (教会にあたる) と十一の分隊 (伝道所にあたる)、二十の社会福祉施設、二つの病院 (ホスピス併設) を通じて働きを進めるとともに、街頭生活者支援や災害被災者支援など、様々な社会奉仕活動をおこなっています。

#### 創立記念野外コンサート

6 月 7 日、日曜の午後、日比谷公園小音楽堂で、創立 150 周年を記念しておこなわれました。公園に来た大勢の人が、涼しい木陰でプラスバンドの演奏や合唱に耳を傾けていました。



タンバリンによる救世軍オリジナルの賛美



#### 2015 年 克己週間募金 結果報告

この度の克己週間募金 (3/1～4/30) へのご協力、ありがとうございました。心からの感謝とともに、右のとおり結果をご報告申し上げます。

	(単位円)
北海道地区	742,100
関東東北地区	1,748,110
東京東海地区	7,040,778
西日本地区	2,683,237
医療部	596,056
社会福祉部	2,130,240
士官学校	1,463,651
本営 (本部)	169,893
全国合計	16,574,065
	(2015 年 6 月 8 日 現在)

発行日及び定価  
発行日 毎月一日・十五日  
定価 一日号一部五〇円 (平六円) 十五日号一部六〇円 (平六円) クリスマス特集号十二月一日号一部一〇〇円 (平七〇円) 一年分二七〇円 (送料七五円) 振替・〇〇一八〇五四四〇〇

発行兼印刷人 救世軍 代表者 勝地 次郎 編集人 齋藤 恵子 〒101-0051 東京都千代田区 神田神保町二丁目 電話 東京 (03) 三三七〇八八一

発行所 救世軍本営 印刷所 救世軍本営 図書印刷株式会社

(取扱支部) 救世軍は、統一協会、エホバの証人、モルモン教ではありません。これらの問題でお悩みの方は、右救世軍にご相談ください。

(この欄に通信文を書くと第三種扱いになりません)